

# 1学年だより

上越市立板倉中学校  
第15号 11月13日発行  
文責 学年主任 金子 均

## 他者評価も意識する ～私たちは他者評価の中で生きている～

先日、野村克也氏の著書「野村の結論」を読みました。その中に「他者評価」についての記述があり、なるほどと思い、私流にアレンジをして11月10日（火）の学年朝会で、生徒の皆さんに、次のような話をしました。

今日は、「他者評価」の話をします。評価には「自己評価」と「他者評価」があり、「自己評価」がとても大切であるというのは常識ですが、あえて「他者評価」の話をしたいと思います。私が読んだ野村克也さんの本を参考にしています。

私たちは社会の中で生きています。すなわち必ず誰か他者とかかわって生活しています。その相手は、あなたのことをどのように思っているのでしょうか。自分が自分を評価する（自分に甘くなることが多い）のと同じように評価してくれているのでしょうか？そうとは限らないことはみなさんも分かっていますね。実は、私たちの人生は、他者の評価によって左右されることがたくさんあるのです。具体的に話しましょう。例えば、もうすぐ生徒会役員選挙があります。選挙とは正に他者評価です。「自分はこんなに優れていて、やる気もあるのに」と思っているのに、票を入れるのは他者なのです。投票する人に評価してもらえないと当選できません。また、高校入試も他者評価です。自分がどんなにその高校に入りたいと思っても、自分では決められません。入試には面接がある場合もあります。そこで人物が評価されるのです。就職も同じです。また、将来結婚したいと思って「愛しています、結婚してください」と告白しても、判断するのは相手、他者なのです。

だから、他者からの評価を良くしておくことは、とても大切なことです。どうすれば評価が良くなるのでしょうか。それは、他者からの評価が悪くなる方法を考えれば、分かりますね。誰かに何か嫌なことしていませんか？誰かに何か嫌なことと言っていませんか？係の仕事や日直の仕事、清掃など自分の役割をきちんと果たしていますか？どうですか、みなさん、ちゃんと生活できていますか。

中には、先生の前だけ良い子の振りをしている人もいますね。でも、周りの仲間はすべてを見ています。たとえ先生に良い評価をもらったとしても、先生との付き合いは、あとたったの2年と数か月です。みなさんは、あと何十年もずっとこの同じメンバーで付き合っていきます。大人になってもこのメンバーでの付き合いの場面は他より多いのです。だからこのメンバーに「あの人はいい人」と評価してもらうことは、とっても大切です。他者評価は普段の生活の積み重ねです。普段の生活の一つ一つが大切なのです。

ただし、他者評価が大切であるという話を聞いて、周りの目を気にし過ぎてはいけません。「失敗をして笑われたらどうしよう」などとビクビクしてはいけません。挙手をして発言をした内容が間違っていたとしても、挙手をして自分の考えを発表する、勇気のある人だという評価をもらえるのです。

適切な自己評価をしながらも、たまに自分の言動を周りの人はどう思うのかという「他者評価」を意識して生活していきましょう。



**野村 克也** (1935～2020)  
プロ野球選手（捕手）コーチ、  
監督、野球解説者、野球評論家  
愛称は「ノムさん」  
野球を通して人生について語った著書多数